千葉電協行事報
第9版

当協会主催「会員施設見学研修会（第2弾）」を開催しました！

3月15日（水）に「会員施設見学研修会」を開催いたしました。
第2弾として、千葉市にあります「JFEスチール株式会社東日本製鉄所（千葉地区）」様のご協力をいただき開催しました！
本研修会では、当協会向けに特別コースをご用意いただき、一般見学では見れない「超高圧受電所」は、事務局員から見ても圧巻であり非常に有意義な研修会となりました。
準備段階から研修当日まで、当協会監事でもあるJFEスチール(株)東日本製鉄所の廣崎様はじめ関係者ご一同より多大なご協力をいただきました。
本企画は、参加会員数35名、事務局3名の総勢38名での実施となりました。
最高級の鉄鋼製品の製造現場を体験できた研修会で様子を、ご紹介させていただきます。

東日本製鉄所（千葉地区）は、
戦後初めて建設された、
鉄鋼一貫製鉄所です。

当日は3月中旬でありながら、小雨が降る非常に寒い1日となりました。JR蘇我駅西口で皆さまと集合後、JFEスチール(株)様にて手配いただいた大型観光バスに乗車し、いざ、製鉄所へ！
最初に「見学センター」のホールで、当協会の副会長である「JFEスチール(株)東日本製鉄所（千葉地区）　副所長　浅見様」よりご挨拶をいただきました。ご挨拶後、ビデオにて製鉄所の概要について視聴させていただきました。ビデオ上映からサイト見学ツアーまでは、当協会監事である「JFEスチール(株)東日本製鉄所（千葉地区）エネルギー技術室　副部長　廣崎様」が司会進行からガイドまで対応いただき、ツアーでは「エネルギー技術室　釼持様」もガイドとしてご同行いただき、様々なお話をいただきました。
製鉄所の概要のご説明では、世界での鉄鋼市場で競争力ある製品を生産するために、世界最高級の鉄鋼製品の創造のため、「世界トップクラスの効率」設備や「世界最速のスピードでの圧延」設備、生産工程で発生する複成ガスや都市ガスを利用した発電設備、産業廃棄物を資源としたリサイクルプラント、燃料や水を最大限リサイクルし、緑化など環境づくりも進められ、環境・地域と共生する製鉄所づくりに努められているとのお話でした。
サイトツアーでは、特別高圧受電所、クリーンパワーステーション（IPP）、西発電所、製鋼工場（製鋼・連続鋳造工程）を実際に歩いて見学しました。IPPでは運良く（？）ガスタービンの定期メンテナンス作業日と重なったこともあり、分解されたタービンを間近で見させていただくことが出来ました。また、製鋼工場での転炉工程では、機械操作では細かな炉の操作が難しく、人手によるクレーン操作で、まさに「匠の技」！運良く転炉工程を間近で見れ感謝、感激です。
ただ、この日は「熱間圧延ライン」の定期補修日にもあたっていて、残念ながら圧延ラインの見学は出来ませんでした。
生活に欠かせない鉄鋼の製造現場を見学し、その工場のスケールの大きさ、環境に対する知恵と努力などを見ることが出来、非常に有意義な研修会となりました。

発行：千葉県電気協会事務局